

江戸東京歴史文化回廊

—江戸から東京を結ぶ—歴史文化観光資源—

史跡の国宝である特別史跡江戸城跡は、皇居と城郭が併存し、四季折々の自然と一体となり雄大で美しい城郭を形成し、世界遺産に十分に匹敵すると云われています。

江戸幕府の政庁であった江戸城本丸御殿は、遡ること150年程前、火災で焼失したために、往時を偲ばせるものは殆んど無く、櫓や石垣、お濠、城門等の遺構の痕跡が窺われます。一方、御府内（千代田区等8区）に至っては、多くの歴史文化遺産の分布が広範囲にみられます。

田安門・半蔵門・外桜田門・常盤橋門・神田橋門、即ち、江戸五口から放射線状に延びる旧街道を中心に七つの歴史文化ゾーンが見られます。御府内を中心に、その界限には徳川御三家大名屋敷を始め、大名庭園、神社、仏閣、内濠、三十六の見附が残り、最強の要塞であった江戸城外濠、市民の守り神・稲荷神社等が現存し、世界遺産に匹敵する「歴史建造物群」としての姿は、日本史上最大規模の城郭都市であったことが偲べれます。

江戸城本丸御殿は儀式や行事に高い格式を重んじた大広間・書院造の室内意匠は芸術性に富む壁面や天井、障子、床や座敷飾り、彫刻欄間、飾金物などに大胆さや優美さが極めて秀でた匠の技により見事に表現されていたことが窺われます。

江戸では華道や香道、茶道、俳句の興隆はもとより、能、歌舞伎、武道等、天下祭りやお神楽等、様々な伝統文化や芸能が、武士のみならず、町人に至るまで豊かな文化が育まれていたことが窺われます。

現代東京においては、それらの歴史文化が多様な物語と共に「伝統と革新」をテーマに豊かな観光資源として「観る・食べる・遊ぶ」として散在していることが窺われます。それらを再発見・再生し群として繋ぐことにより、今、新たな城郭都市江戸東京が、厳然とよみがえり、内外から訪れる多くの人々に感動と喜びをもたらすのではないのでしょうか。

WEB上の「ご入会、ご寄付のご案内」
をご覧ください。

こちらから申し込みができます。

<https://zaidan-edojo.or.jp/>



- ・会の基本情報
- ・会の活動
- ・江戸東京歴史文化資源等
- ・入会 寄付のご案内
- ・その他

会費・寄付金お振込先

使途目的：「江戸城全体整備計画の策定」
及び「事務局基盤整備」等の費用

郵便振替をご利用の場合

郵便振替口座 No.00100-1-363134

口座名 財) 江戸東京

銀行振込をご利用の場合

三井住友銀行 神保町支店 店番 001

番号 2203510 口座名 財) 江戸東京

※お名前、ご住所の特定ができないので、
WEB/入会申し込みフォームからお申込み下さい。

一般財団法人 江戸東京歴史文化ルネッサンス

会長 小竹 直隆

代表理事 理事長 浅田 豊久

〒102-0075 東京都千代田区三番町1-16

Gmail zaidanedojo@gmail.com

江戸城

よみがえれ



江戸城「江戸図屏風」国立歴史民俗博物館所蔵
(小澤弘・丸山伸彦編『図説江戸図屏風をよむ』より転載)



江戸東京博物館所蔵
本丸・二丸御殿(模型)



本丸御殿のメインエリア
平井聖・小粥祐子編『よみがえる江戸城』より転載

近未来の世界遺産を目指す 本丸御殿を中心に歴史文化資源でつなぐ江戸東京歴史文化回廊 よみがえれ！江戸城・城下町

日本橋「熙代勝覧」ベルリン国立アジア美術館所蔵
(小澤弘・小林忠『活気にあふれた江戸の町「熙代勝覧」の日本橋』より転載)



ご参加のお願い

「江戸城全体整備計画の策定」は、世界的評価に資する学術調査研究が必須です。
調査研究の成果は広く社会一般に公開すると共に、引き続き、関係機関への提言活動を進めて参ります。
江戸東京の文化芸術の振興及び地域社会への貢献を、よりいっそう推進し、公益目的事業として明確化するためにも、公益認定の取得が肝要です。
以上、二つの課題に新たな視点を検討しつつ、取組を進めて参ります。
何卒、皆様のご参加とご支援を賜りますようお願い申し上げます。